

林 前代表退任の挨拶

会報 那須シニアカレッジ

心身の老衰を自覚 くも膜下出血の事故

那須シニアカレッジ前代表 林 茂雄

名古屋外国語大学教授で二回目の定年退職を迎えた時は七十四歳だった。既に那須町の現住所に余生を過ごす家は用意していた。東京新聞在勤中は月に一、二回の程度で利用していた。那須に移住した時、まだ心身に余力があったので多少の地域貢献になればと人材バンクに英語通訳の登録をしておいた。

数日たつて役場から電話があり、友利実則氏主宰の那須シニアカレッジが開講されるが講師にならないかとの話だった。直前まで大学で国際事情の講座を担当していたので、新聞の外報面程度の解説ならばとお受けした。

以来、月に二回の講義を続けている。数年たって直線がすべて波型にみえる眼病(黄斑障害)にかかり、東京の病院で手術をするハメになった。手術結果によつては自動車運転が出来なくなる可能性があるとわれ講義を中止した。

№13
2021年5月20日発行
発行所 那須シニアカレッジ
広報委員長 片上 清重
発行責任者



出典:那須フォトコンテストより



林 茂雄の「こゝろ」

北京異聞・アカシアの新芽を食べる飢饉

半ば昔の話である。1963年(昭和18年)春。中国・北京で毎年街を白い花で美しく彩るアカシア並木の緑が現れなかった。

私は日本人居留民の子供たちが通う北京西城国民学校の5年生。朝、登校途中で見えるアカシアの木は、飢饉(ききん)のために食料を入手できなくなった市民が枝から出てくる新芽を摘み取って食料にしたからだ。

絶望から枝で首を吊る者も出たが、北京市清掃局のトラックが集めて西直門外の特設焼却場で茶毘(だび)にした。

怖ろしいのはこの飢饉の話は嚴重な言論統制で新聞もラジオも全く報じなかった。すべては「くちこみ」の世界のことだった。

当時の北京には上水道はあったが水質が悪く、煮沸(しやふつ)した湯の上澄みをビンに詰めて飲用水にした。街裏には一輪車の水売りののどかな声が響く。驚いたのは初夏になると、ガラス鉢に小さくて黒いオタマジャクシを数知れず泳がせて売って水売りの姿。

中年の男たちが持参したコップに十数匹を泳がせ一気に飲み下していた。精がつく特効薬とか? 空には足に鳩笛を付けたハトが特有の音を響かせて飛び回っていた。

当時の北京は完全に城壁で取り巻かれた都市で人口は200万人余。国民党と共産党の『国共合作』を成し遂げた中国は、北京郊外まで進出、北支派遣軍は大都市と鉄道沿線を支配するだけ。

登下校は出来る限り集団で行われた。中国軍が日本人児童を人質にして身代金をかせぐ『人さらい作戦』を始めたとの噂が立った。そうではなく八路軍(共産党軍)を騙(かた)る犯罪集団の仕業との噂もあった。

1941年秋に中国に豊富な石炭を利用して火力発電所建設を行う日中合弁電力会社の技師をしていた父に帰国命令が出た。朝鮮の釜山までは直通列車で来られたが、下関に渡る関釜連絡船が大変だった。既に対馬海峡に米国の潜水艦が出没している模様で、連絡船は数隻の船団で前後を駆逐艦に守られての航海。

乗客は魚雷攻撃に備えて枕型の浮袋を付けての乗船。漸く安全な海域に到達して甲板に出られたが、青い海と島々の緑の木々が、大陸の赤茶けた山河を見なれた目にとめて新鮮だった。(完)



日滿連絡船 1937年頃

渡辺新代表就任の挨拶

みんなと行く道

代表 渡辺光男

地上には

大小の道が たくさん通じている。

しかしみな

目ざすところは同じだ。

馬で行くことも車で行くことも

ふたりで行くことも三人で行くこともできる。

だが最後の一步は

自分ひとりで歩かねばならない。

これはヘルマン・ヘッセの詩の一節です。

シニア世代も後半になると、誰もがゴールを意識するようになります。

私は、八十歳の誕生日に臨んで、これまで引きずってきたものを整理し、身軽になりたいと思いました。気が向き、気軽にやれ、できれば人に喜んでもらえること、そう考えて残したものが、オカリナ風クラブと源氏物語講座です。

オカリナは、那須風土記の丘資料館時代に手がけて、七年ほどかけて確かなものが作れるようになり、その間に仲間も増え広がって、六チームほどになっています。

小学校からの帰り道、麦畑の向こうから流れてきた草笛の音が記憶に懐かしく、この土笛の音が聞こえる郷土の田園風景の実現を夢見て、待ってくださっている人たちのいる、近隣の町や市を回っています。

源氏物語は、一〇〇〇年前に書かれた、世界最長の大恋愛小説です。受講生から勧められて手がけたものですが、以来一五年、今ではすっかり魅力の虜になって、あと十年、受講生と長生を競いながら、読みおわそうということになっています。



出典: 那須フォトコンテストより

さて、林茂雄代表が、ご高齢に加えて体調をくずされ困っておられるので、後を引き受けることにしました。能力面はもとより、年齢からくる不安もあります。ができるだけの努力はするつもりです。幸い、優秀な講師陣に囲まれておりますので、いざことあらば後にはよろしくと、おおらかに臨みたいと思います。

人生のたくさんの道、その道が交わる中で、小さな出会いが無数に生まれています。そのうち、ちよつとした心がけで、その小さな出会いが、切実なかけがえない出会いに発展することがあります。

ずっと探し続けた出会いでも、「やってみようかな」とふと兆した出会いでも、ともかく取り組んで、それを温め続けていて気づいたら、以前の自分とは違う自分になっていると思えるような、そんな経験はありませんか？

「コロナ疲れ」あなたは大丈夫？

シニアカレッジは、そんな出会いの可能性が一杯詰まっている出会いの場だと思います。

新しいことを知り、できなかったことができるようになり、自分の世界が広がるように思われる嬉しさ、これは年齢を超えた学びの喜びです。さらに、身につけた力が、まわりやみんなの役に立つかもしれない、と思えるようになったらどうでしょう。

講師のかたがたには、それぞれの講座で、こうした学びの喜びを、那須シニアカレッジ受講生との出会いの中で、力を合わせて高めていってほしいと願っています。

冒頭の詩には続きがあります。「最後の一步は自分ひとりで歩かねばならない」に続いて、だから どんなつらいことでも

ひとりでするということにまえる

知恵もなければ

能力もない

私は、これには大いに疑問があります。

私は、もちろん最後の一步は自分で歩きますが、そこまでの道中の孤独と放浪などまっぴらです。気持ちの通うみんなと、一日ギリギリまで歩いて行きたいと思っています。

狭いトンネルを抜けたら、桃の花の続く林があつて、その先に肥沃な田畑が広がり、種を蒔いたり耕したり、農耕にいそしむ人影が臨まれ、桑竹に佇む家々や行き交う道のそこそこから、鶏や犬の鳴き声が聞こえる、その中で老人も子供もそれぞれに喜び楽しんでる、この風景は、一六〇〇年前に陶淵明が描いた理想郷（桃花源）です。陶淵明はこれを果たせない夢として描いていますが、私たちの那須野が原に置き換えてみませんか。

足りないものがいくつもあり、子供たちと老人が喜び楽しむ村の実現は少し遠いかもかもしれませんが、「シニア世代が輝く町」は実現できそうな気がしませんか。

コロナウイルスについて Vol.2

変異株はいくつあるの？

(コロナウィルスー第2回)

ウィルスの変異株の型は無数にありますが、WHO(世界保健機構)は特に注意が必要な変異株について、“VOC”と“VOI”の2つに分けて定義しています。

(ゴシックは変異株の名前、N501Yなどは変異の名前です。)

VOC(懸念される変異株)—感染しやすい、重症化しやすい、ワクチンや治療薬が効きにくいことなどが既の実証されている変異株を指します。

◆**VOC-202012/01**—イギリスで確認された変異株。従来株よりも感染しやすく、重症化しやすい可能性あり。130ヶ国で報告。N501Yなど。感染力1.4倍～1.9倍。既に大阪、兵庫などの報告多数。

◆**501Y.V2**—南アフリカで確認された変異株。従来株よりも感染しやすく、免疫やワクチンの効果を低下させる可能性あり。80ヶ国で報告。感染力1.5倍程度。

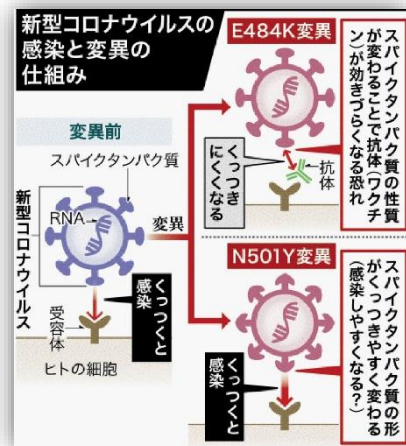
◆**501Y.V3**—ブラジルで確認された変異株。従来株よりも感染しやすく、免疫やワクチンの効果を低下させる可能性あり。45ヶ国で報告。感染力1.4倍～2.2倍？(不明)

◆**P.3系統**—フィリピンで報告された変異株。従来株よりも感染しやすく、免疫やワクチンの効果を低下させる可能性あり。

VOI(注目すべき変異株)—VOCよりは警戒度は低いですが、市中において複数の感染例やクラスターが確認されている変異株を指す。日本でもこのWHOの定義に沿って変異株を分類しており、2021年4月6日時点で国内の変異株はVOCが4種類、VOIが3種類となっています。

◆**R.1系統**—起源不明の変異株。従来株よりも免疫やワクチンの効果を低下させる可能性あり。

◆**B.1.427 および B.1.429**—CDC(米国疾病対策センター)では、VOCに位置付けられている。従来株よりもやや感染しやすく、一部治療薬の効果を低下させる可能性あり。



N501Y—スパイク蛋白質の501番目のアミノ酸がN(アスパラギン)からY(チロシン)に置換。感染しやすくなる可能性

E484K—スパイク蛋白質の484番目のアミノ酸がE(グルタミン酸)からK(リシン)に置換、ワクチンの効果が減る可能性

こうした変異型株がこれから増えていくと思われます。
コロナウィルスの第4波ではなく、新たなウィルスの第1波と思って、マスク、アルコール、三密をさける等の対策をしっかりとお願いします。
インドでは、2つの変異が同時に起きている株も見つかっています。

受講生募集までのお話

広報部より受講生募集までの段取りをチョットお話いたします。現在、事務局・広報部では第16期受講生募集の準備が始まっています。8月初旬には新聞の折込チラシが入ります。

先ず、新講座審査承認、現行の講座講師からも改めて「講座実施計画書」を提出していただいております。

これにより次期実施講座が決定します。(6月中旬頃までに)

✚ 折り込みチラシの原稿作りが始まります。何回も何回も校正作業を行います。(6月末の頃までに)

✚ 折り込みチラシの印刷を外注します。那須町7,000部、那須塩原市1,800部 計8,800部になります。(7月中旬までに)

✚ 8月9日(月)新聞配達にて募集開始します。

✚ 8月9日～8月17日が申込期間になります。

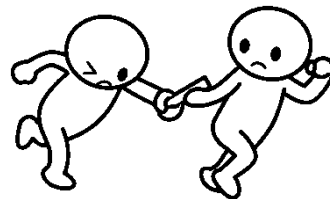
全体説明会を開催、10月より開講、オリエンテーションを経て受講料の払い込みを確認⇒受講者の確定 こんな段取りが毎年続きます。

現受講生の皆さんへ
お知り合い、お友達を是非勧誘してください～

広報部



講師会の様子 2020/12/5
りぼーる・たなか



3月31日をもって事務局長の原田 道夫講師(カメラ講座)から齋藤 健講師(DIYいろは塾)にバトンタッチされました。

原田さん大変ご苦労様でした。
齋藤さん宜しくお願い致します。
今後連絡は、齋藤事務局長までお願い致します。

ようこそ プラットホーム

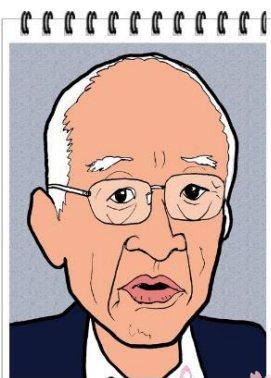
このコーナーは、皆さんの投稿コーナーになっています。お知らせ事、楽しい情報がありましたら掲載いたします。奮ってお寄せください。



【半藤 一利】
1930年生まれ〜2021年1月
90歳で逝去「日本の一番長い日」
8月15日終戦の日を描いた著作が有名

受講生 よもやま話

【源氏物語講座】小嶋 ヤイ



武島 羽衣 作詞
滝 廉太郎 曲

春のうららの隅田川
のぼりくだりの船人が
櫻のしずくも花と散る
眺めを何に喩うべき

神戸三ノ宮で作家の田辺聖子さんと
夜の更けるまで飲めや歌えの夜、
「花」をスラスラと歌った。

【田辺 聖子】

1928年(昭3)生まれ〜2019年没
1963(昭38)「感傷旅行」で芥川賞
「新源氏物語」の著作がある。



ハハーンこれだなと探して嬉しくな
った。

春の日の
うらうらにさして行く舟は
棹のしずくも花ぞちりける

長年の悪戦苦闘の結果、岩波文庫本「源氏物語」の「胡蝶」の巻、六条院の裏のころ。回廊をめぐる藤の色のこまやかに、池に影を映した山吹もいまを盛りに咲いている。そんな美しい風景の中で女房のひとりがうたつのである。

すると田辺さんが、「その歌のもともとは源氏物語があるの」存じだっ
しゃるか」
まったく存じなかったの、
ただ目を丸くするばかり、田辺さ
んは「源氏物語」の大家らしく
ニコニコするだけで種あかしをされない。

コロナでTV映画に釘付け

チャップリンのライムライト、何度見ても感動。

高校3年12月土曜日の昼下がり、級友の佐藤京子さんと三春唯一の映画館で「ライムライト」を3回も観て終列車に乗り遅れ、貨物列車に乗せてもらった。無蓋の石炭車の上。長い笹山トンネルを抜けたら顔は煤だらけ。セーラー服の白線は真っ黒で、なかなか元にもどらず…青春真っ只中のホロ苦い一日でした。

(源氏物語講座 小嶋 ヤイ)



事務局便り

受講生、講師の皆様にお願ひがあります。

- 各教室に来所時に検温をお願い致します。
- 息苦しさ、強いだるさ、高熱、咳、味覚や臭覚がない…などの場合は、出席をお控えください。
- 教室内ではマスクの常時着用と石鹸での手洗い、手指の消毒にご協力下さい。
- 講座前、講座後の至近距離での長時間の会話はお控えください。
- 使用済みマスクは施設内のごみ箱に捨てず、お持ち帰り下さい。

投稿記事大募集!!

俳句、短歌、写真、なんでもお待ちしています。
取材にも参ります。お気軽に
編集長 片上



那須シニアカレッジ

URL <http://nasusenior-college.jp>
Eメール info@nasusenior-college.jp